

身体抑制最小化の取り組み

2025年10月 VOL.46

高知県立幡多けんみん病院
認知症看護特定認定看護師

2016年 看護接遇委員会設置

* 現認知症サポート委員会

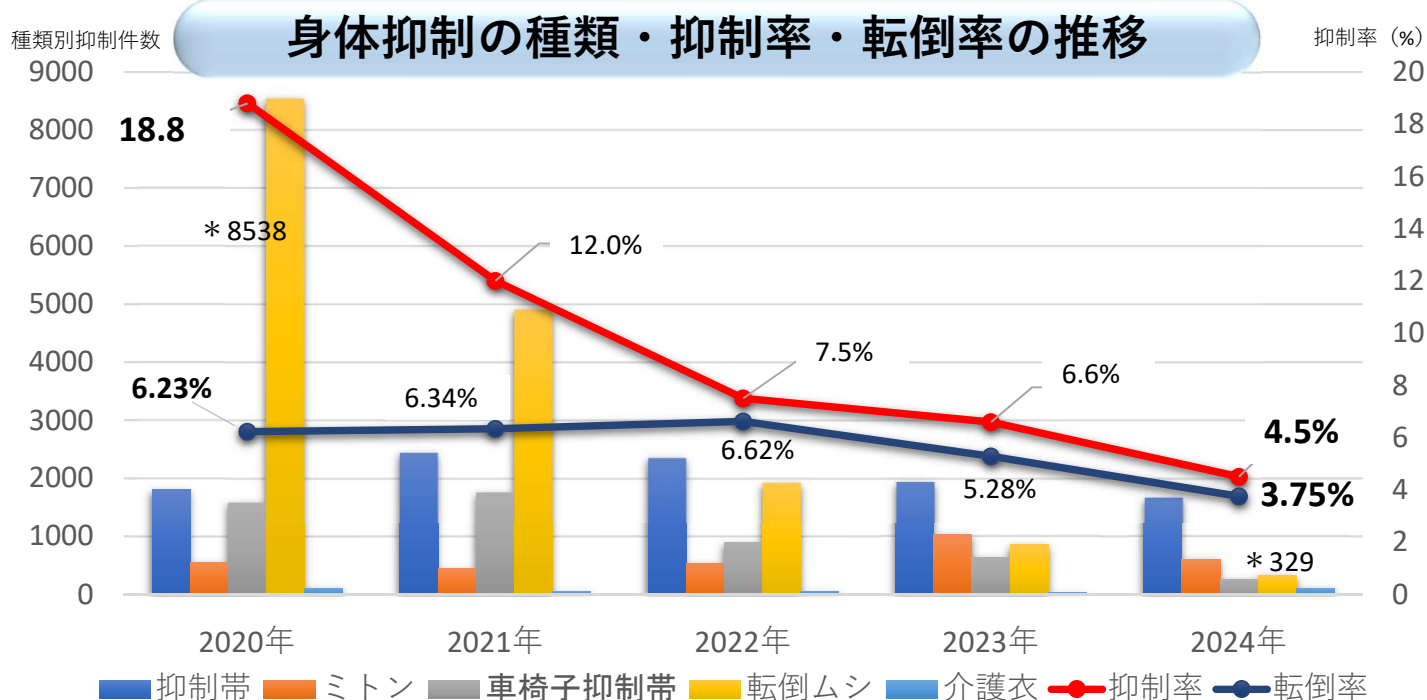
患者さんやご家族が安心して療養できる接遇を目指す。「患者さんの尊厳を守るケア」の視点から身体抑制の課題にも取り組みを開始。

2021年 認知症ケアチーム活動開始

認知症やせん妄予防ケア、スタッフ支援を強化。従来のレスキュー対応から、日々の観察・アセスメントを共有しケアを展開できる体制へ。

2024年 令和6年度診療報酬改定

「身体抑制の3要件」の原則を明確化し、判断基準と記録方法が定着。身体抑制の状況を把握し、可視化を推進。



認知症サポート委員会・医療安全管理室データより

2020年度から2024年度にかけて身体抑制率は18.8%から4.5%に大幅に低下しました。

* 転倒ムシの件数は8538件から329件

転倒率の著明な悪化はなく近年は低下傾向です。抑制回避が安全性低下につながらないことが示されました。

新しい認知症治療薬

2024年11月に抗アミロイドβ抗体療法が始まり、他施設からのフォローアップを含めて8名の方が治療を継続しています。さらにこの9月からは、続いて発売された治療薬による投与も始まりました。

当院では、治療適応の検査から初回投与、約半年間の経過観察までを担い、安定している患者さんはフォローアップ施設での継続投与へとつなげています。今後も幡多地域全体で治療体制を整備し、地域ぐるみで新しい認知症治療を支えていきたいと考えています。